

ヤマトグループ賛助会員向けニュース 発行部数12万部

ヤマト福祉財団

Yamato Welfare
Foundation

No.9

2006 Winter

NEWS

第六回 ヤマト福祉財団小倉昌男賞 贈呈式
主催 財団法人ヤマト福祉財団

第6回 ヤマト福祉財団小倉昌男賞特集



前列右より宮崎潔さん、太田勇さん、太田令夫人、
後列右、越川利勝、ヤマト運輸労働組合委員長、左、山崎篤理事長

晴れやかに 第六回 小倉昌男賞贈呈式

ヤマト福祉財団賞は、今回から小倉昌男賞になりました。
3年計画で障がい者の月給を5倍、5万円にした太田勇さん、
障がい者138名の企業就職に尽力された宮崎潔さん、
受賞おめでとうございます。

財団創設者、故小倉昌男前理事長の名に因んで「ヤマト福祉財団 小倉昌男賞」と名称変更した初めての贈呈式並びに受賞祝賀会が、障がい者週間にあわせて2005年12月7日、東京・丸の内日本工業倶楽部で開催されました。別掲の2名の方が受賞されました。

山崎篤ヤマト福祉財団理事長が、開会の挨拶で「小倉昌男の志を受け継ぎ、どうしたら障がい者の幸せにつながるのかしっかり考えていきたい。今回も障がい者の自立に大きな功績を残したお二人に小倉昌男賞を贈呈することができました。」と述べました。選考委員からの講評、推薦者からの受賞者紹介、賞の贈呈、受賞者のご挨拶がありました。正賞としてブロンズ像「愛」（雨宮淳氏作）、副賞として賞金100万円が受賞者に贈られました。ご来賓の方々からも感動的なご祝辞をいただきました。祝賀会では、俳人としても著名な花田春兆 日本障害者協議会顧問から、受賞者に俳句の色紙が贈られました。



前列右より宮崎潔さん、太田勇さん、太田令夫人、
後列右、越川利勝、ヤマト運輸労働組合委員長、左、山崎篤理事長



写真左／太田 勇さん(左) 写真右／宮崎 潔さん(左)に山崎理事長から第6回「ヤマト福祉財団 小倉昌男賞」を贈呈



日本工業倶楽部大会堂

選考の経過

全国から21名の選りすぐりの候補者をご推薦いただきました。11月1日、銀座東武ホテルで開催された選考委員会で、すでに功績を称えられた方を除いて今後の活躍が期待できる6名に候補者を絞りました。そのうえで、小倉昌男賞の選考基準である、雇用拡大に著しい成績をあげていること、給与をはじめ労働条件の改善を通じて働く障がい者の生活向上に大きく貢献した、調布市社会福祉事業団 知的障害者通所授産施設すまいる施設長 太田勇さん、財団法人愛知県セルブセンター 名古屋市障害者雇用支援センター所長 宮崎潔さん両氏の受賞が全会一致で決定されました。



選考委員講評 藤井克徳 きょうされん 常務理事(小倉昌男賞選考委員)



来賓祝辞 中谷 比呂樹 厚生労働省社会・援護局障害者保健福祉部部長



来賓祝辞 炭谷 茂 環境省環境事務次官



来賓祝辞 長門 利明 内閣府参事官(障害者施策担当)



来賓祝辞 立岡 暁 きょうされん 理事長



乾杯 青木 大祐 安田倉庫株式会社相談役



中締め 堀口 尚久 ヤマト運輸労働組合 中央書記長

第6回ヤマト福祉財団 小倉昌男賞 受賞された方のプロフィール

おおた いさむ
太田 勇さん 63歳



社会福祉法人調布市社会福祉事業団
知的障害者通所授産施設
すまいる 施設長

障害者を保護する場所から働く場所へ……。東京、調布市にある授産施設「すまいる」の施設長に就任した太田さんは、パンの製造・販売を通してそれまで月額1万円余りだった障がい者の賃金を、3年間で一気に5万円にするという、無謀とも思える大胆な計画を立て、「バイバイプロジェクト」をつくりました。小倉昌男著「福祉を変える経営」に強い刺激を受けたからです。

具体的な数値目標を作り、地域の企業や大学などの出張販売先の開拓、おいしいパン作りのための技術研修、工夫、パン生地の改善、新製品の開発、季節ごとの販促イベントなど、すばらしいアイデアと努力の結果、昨年3月に計画通り達成することができました。障がい者は月給5万円とともに、働く大きな喜びを手に入れることができました。



推薦者
西尾 隆さん
国際基督教大学教授、
ラーニングセンター長

みやざききよし
宮崎 潔さん 55歳



社団法人愛知県セルフセンター
名古屋市障害者雇用支援センター
所長

障がい者の就職支援一筋に30年近く尽力されてきた宮崎さんは、名古屋市障がい者雇用センター所長に就任してからの6年間で、138名の障がい者を一般企業への就職に成功させました。全国14カ所の雇用センターの中でもトップの実績です。

しかも、ほとんどの障がい者が定着しています。職業訓練をできる限り一般企業で行い、働く心構えと社会性の育成を心がけてきました。その実習のための協力企業の開拓、早めの実習活動、また余暇活動による仲間意識を育て、働き続ける意欲を育てています。さらに、定着支援のための職場訪問を、年間1200回という気の遠くなるような努力を続けています。



推薦者
近藤 正臣さん
社会福祉法人名古屋ライト
ハウス 専務理事

受賞者に俳句の色紙

俳人としても著名な花田春兆さんからお二人に俳句が贈られました。

太田さんへ

「ボーナス期膨らむパンのあたたかさ」

(おいしいパンがたくさん売れて、ボーナスも、みんなのあたたかい笑顔も)

宮崎さんへ

「霜困い視く気配りねんごろに」

(植物が霜に負けないように困いをする、就職した障がい者も厳しい冬に負けないように思いやりの職場訪問)



花田 春兆さん(はなだしゅんちよう)

俳人、著述業、障がい者文化の研究と実践活動。日本障害者協議会顧問。1925年生まれ、80歳。生まれながらの脳性マヒにより歩行・起立不能。言語障害あり、俳句は中村草田男に師事。「支援費風雲録4ストップ・ザ・介護保険統合」「雲へのぼる坂道(車いすから見た昭和史)」「折れたクレヨン(私の身障歳時記)」「天日無冠」など著書多数



建設中のスワンベーカリー県立大学店



スワンベーカリーに
新しい仲間

3・6 県立大学店 オープン

お近くの方はぜひお立ち寄りください。
お近くの宅急便センターへ配達もします

京急電鉄グループ(株)京急ウイズがスワンベーカリーのフランチャイズとして、スワンベーカリー県立大学店を3月6日にオープンします。二足先にオープン前のシヨップをのぞかせて頂きました！

スワンベーカリーの理念に賛同して

京浜急行線の「京急安浦駅」が、神奈川県立保健福祉大学が開学したことにより、駅名が「京急県立大学駅」(平成16年2月)に変更し、駅舎を建て直しました。

その旧駅舎の跡地をどんなふうにも有効利用すればよいかを考えていたんです。そんなとき、売店や飲食店などの構内営業を行う京急ステーションコマースから、スワンベーカリーのお話を伺いました。

この跡地に、私たちの新規事業として、障がい者の方に働いてもらうスワンベーカリーをオープンするのは願ってもないことです。なぜなら、ここ、横須賀市が福祉の街を推進しているのもとより、保健福祉大学ができたことにより、駅名も変更したのですから。この駅を利用される学生さんは、福祉への関心も高いことでしょう。

横須賀市長をはじめ、市役所の健康福祉部長の推薦をいただき、早速事業計画書をまとめて、(株)スワンさんに持参しました。

私たちも小倉昌男前理事長のことは尊敬し、スワンベーカリー誕生の理念に賛同しておりましたから、ぜひこの事業を成功させたいと思っております。

ゆくゆくは、駅コンコースや 大学構内でパンの販売も

京急ウイズは、京急グループの特例子会社として3年前に設立しました。障がい者雇用率(法定雇用率1・8%)もようやく2%を超える水

準になりました。

しかし、駅やホテルの清掃、駐車場管理などグループ関連業務だけでは、障がい者の採用にも限界があります。そこで、昨年の11月にクリーニング事業にも参入。続いてスワンベーカリー事業のスタートです。

人が行き交う駅前のベーカリーシヨップを起点に、鉄道グループの特性をいかして駅の構内での販売、コンコースにサテライトを設けての販売も予定しています。また、福祉大学が近くにあるので、大学構内での販売も実現したいと思えます。さらに、アルバイトという形で、福祉を学ぶ学生に、生きた経験というか、実践の場を提供できることでしょう。

障がい者と健常者がともに働けるソーマライゼーションの実現に向けての努力が私たちの仕事です。

今後、スワンさんやヤマト福祉財団さんにご指導いただきながら、地域で愛されるベーカリーシヨップを目指します。



お話を伺った(株)京急ウイズの熊谷孝次社長(右)と松本洋一総務部長(左)



株式会社京急ウイズ

- 京浜急行電鉄株式会社 特例子会社
- 平成15年9月設立
- 障がい者34名(身体2名、知的30名、精神2名)
- 事業内容/駅清掃、ホテル清掃、駐車場管理、各種印刷、布団乾燥、クリーニング、ベーカリー(18年3月)

社員の
みなさまに
お願い

今年も障がい者福祉助成金申し込み受付が始まります！

お近くの障がい者福祉作業所や、心身に障害のある大学生にぜひ紹介してください。

助成対象事業

- [1] 一般助成
- (1) 障がい者施設の改善、整備、備品調の購入に対する助成
 - (2) 各種会議、講演、研修事業に関する助成
 - (3) 各種出版、啓発活動等に対する助成
 - (4) 各種調査、研究事業に対する助成
 - (5) 文化事業、スポーツ活動等に対する助成

助成のポイント

- [1] 一般助成:一件あたり上限額100万円
- 全国の都道府県にくまなく助成できるように心がけています。
 - 障がい者の自立と社会参加、生産性アップに直結する事業を優先します。
- [2] 奨学金:月額5万円(年間60万円、返済の必要はありません)

申請書の請求ならびにお問い合わせ先

財団法人ヤマト福祉財団(福祉助成金事務局)

TEL 03-3248-0691

Eメール:y.zaidan@yamatofukushizaidan.or.jp

政府の障害者週間事業に協力しました。

政府の広報ポスターを宅急便車でPR



「一昨年6月の障害者基本法の改正で、障害や障害者に対する国民の関心と理解を深め、障害者の社会参加への意欲を高めることを目的に、毎年12月3日から9日までの1週間を障害者週間とすることが法律上定められました。」一人でも多くの方に、障害について知っていただき、考えていただく機会となり、障害の有無にかかわらず、誰もが相互に人格と個性を尊重し、支え合う「共生社会」を実現していく第一歩となることが期待されています。

東京都内の宅急便車と集配台車に政府の「障害者週間のポスター」を掲示。街頭で障害者週間をPRしました。

ポスター展「私を、待っていてくれる人がいます。」赤坂店

クロネコメール便を配達する障がい者の前向きな姿をテーマにした連作ポスター、リーフレットを作成しました。撮影は「ミーカフェinスワンカフェ」で昨年お世話になった、多方面で活躍されているフォトグラファー平間至さんにお願しました。スワンカフェ&ベーカリー赤坂店でポスター展を開催しました。(平成17年12月1日～平成18年1月13日)



アートビリティ in スワンカフェ



「才能に障害はない」を合い言葉に、障がいのある画家、イラストレーターなどの作品を集めたアートライブラリーです。第17回受賞作家の原画作品展をスワンカフェで開催しました。(11月28日～12月9日)



アートビリティ大賞
野村育葉(のむらいくよ)さん



日立キャピタル特別賞
まちだけいこさん



アサヒビール奨励賞
田中瑞木(たなかみずぎ)さん

「障害者週間の集い」「障害者週間連続セミナー」に スワンベーカリーが出店



「障害者週間の集い」(12月6日、有楽町マリオン11F「朝日ホール」)、「障害者週間連続セミナー」(12月3日～5日、銀座ソニービル8Fソミドホール)にスワンベーカリーが出店しました。障がい者がランチボックスを元気に販売、すべて完売しました。またポスター「私を、待っていてくれる人がいます。」を展示しました。



“障がい者メイトさん”から、喜びの『声』が届きました。

尾崎さんの夢は『グループホームを出て自活すること。そして日本中を旅すること。』

“地図読みの天賦の才”を発揮して、坂道の多い街中を特別仕様の“愛車”で奮闘中!

南海の名城。優美な高知城をいただく城下町、高知県「第2あおぞら作業所」の尾崎幸司さん(30才)から、昨年10月にいただいた『お便り』をご紹介します。

僕の趣味は旅行で、得意技は地図を見てその場所に行くことです。その特技を生かして、福祉ショップでのバザー品の回収を担当して、電話をいただいたら、職員と仲間の人たちと一緒に取りに行く仕事をしていました。職員もみんな方向音痴なので僕が案内する役でした。そして今年になって、メール便に関する説明会があるのです。その話を聞きに広島に行きました。広島に行くときも、僕が誘導しました。広島で話を聞いて、僕にぴったりの仕事だと思いました。そして、職員の人と色々話し合っ、6月からスタートしました。僕が担当している地域は、坂道が多く、通が入り組んで大変だと、職員の方は言いました。僕にとっては子供のころから遊んでいた地区で、すぐに覚えちゃった。お客さんと話したり、近所の人たちと接したりすること、楽しくなれました。ハザー回収や福祉ショップの接客で訓練していたので、自信もありました。一ヶ月ぐらい職員と二人でやり、自信がついたので一人で配っています。わからないことや困ったことがあれば、職員に電話をします。すぐに駆けつけてくれるので、安心して働けます。少しずつ配れる量が増えて、給料が上がりました。友達が仕事を聞かると、”クロネコヤマト”と言うと、”ゴイヤー”と言われ、”うん”と返ります。これからは、”はい”と思いたいと思います。



地域に溶け込み、“自信”ができました。



「桂浜メール便センター」の構内で仕分け作業



ファイルの上から、日々の「配達ルート」を記入。



坂道対策の「特別仕様車」。



顔なじみのお客さまと“笑顔”で会話。

配達開始当初は、坂道を80kgの体重をかけ、立ちこぎで登坂走行。頻りにペダルやサドルが折れたため、各パーツを改造した特別仕様車を製作し、現在「立ちこぎ禁止の配達」で奮闘中。かつては、バニックをおこして体調が落ち込むたびに、心の救いを「旅の世界」に求め、ただひたすら地図を広げていた日々。下元真人施設長、そして仲間達の心に支えられ、福祉ショップの中心的存在として逞しく成長し、尾崎さん自ら「これだ」とひらめいて取り組んだ「メール便配達の仕事」を通して、生まれ育った地域の人々からの、「いい仕事が見つかって良かったね」、「苦勞さん」、「ありがとう」、の励ましに、働く喜びと誇りを感じ、「夢」の実現に向かって精一杯頑張る姿に、心からのエールを送りたい。

ヤマト運輸株式会社 山口主管支店



「山口県雇用開発協会会長賞」受賞
主管で9人の障がい者が活躍



入社3年目で
リーダーに
三好雄之さん
(平成15年4月1日入社)



仕事は包装資材の発注と仕入れを任されています。各センターから資材の注文を受けて發送する業務です。チームは3人、入社3年目で、現在はこのチームのリーダーも任されています。単に仕事を回すだけでなく、チームやセンターで何が必要とされているか、みんなの顔を浮かべながら、がんばっている毎日です。

今の僕の目標・・・？
一番の目標は車の免許を取ることです。

休みの日には
好きな映画を
見るのが楽しみ!!

蔵増健一さん
(平成16年4月1日入社)



私が担当しているのは、シューターから流れてくる荷物をセンターごとのボックスに積み込む作業や、ベースへ向けて發送する荷物を積み込む作業です。勤務は午前9時から午後9時までの12時間(休憩2時間)になります。

車の免許を取ったので、毎日自動車通勤になりました。休みには好きな映画を見るのが楽しみ・・・。母も「いい会社に就職できたね」と喜んでくれました。

山口主管支店が、昨年障がい者雇用で「山口県雇用開発協会会長賞」を受賞しました。現在、支店では車いすの障がい者3人、知的障害者4人を合わせて9人の障がい者が勤務しています。

山口県には高等養護学校が3校あり、そこから毎年、現場実習を積極的に受け入れて雇用に結びつけています。特に知的障がい者の雇用を3年前からスタートしました。支店内の設備も入り口のスロープをはじめ、車いす用の駐車場、エレベーター、トイレ、洗面所など整っています。人事総務課の古谷係長は、養護学校の先生や父母、もちろんヤマトで働く彼等のよき相談役。主管支店が一体となつて、地域に根ざす行動が受賞につながったのはいうまでもありません。



手すり付きのトイレ



スロープのついたエントランス



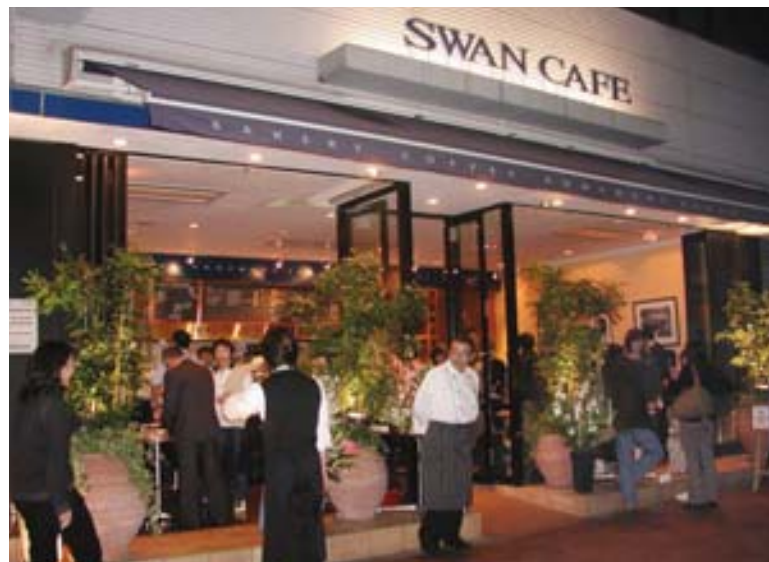
車椅子でも乗り降りできる駐車スペース



スワンカフェ

おかげさまで3周年

スワンカフェ銀座店が、昨年の10月27日に3周年を迎えることができました。スワンの誕生日を記念して、27日・28日の夕方5時から、2000円で食べ放題、飲み放題の感謝祭を開催。ヤマト運輸の社員をはじめ、多くの方が駆けつけ、スワンカフェの料理を楽しまれました。感謝祭には、延べ200人のお客さまが来店され、スタッフも総動員でおもてなし。これからもスワンカフェの成長を見守ってください。



延べ200人のお客さまが楽しんだ



となりのスワンベーカリーからも応援に駆けつけ、スタッフ総出でおもてなし



スワンベーカリーチェーンの責任者研修を開催

スワンベーカリーチェーン店の店長及び責任者が集まり、営業力アップと障がい者の採用拡充をめざして、11月17日18日の2日間、日本財団会議室で研修会を開催しました。

研修会の冒頭で、山崎理事長より「前理事長小倉昌男の理念を発

展させていくのがわれわれの使命である。スワンベーカリーと言う箱はできたが、経営はまだ自立していない。自立していくためには本部とお店、お店同士の情報交換をしながら、良い物を取り入れて発展させてほしい」とのあいさつがありました。

ヤマト自立センターがオープンします

障がい者が地域社会で自立した生活を営むことを願い、授産事業を通じて知識や技術を身につけ、そして一般企業への就職を目指す・・・それを支援する事業を行う

のが、ヤマト自立センターです。埼玉県新座市にヤマト運輸から土地の提供を受け、今年5月に始動予定。詳細は財団NEWSでもリポートしていきます。

バレーボール大会で、スワンベーカリー!?

スワンベーカリー銀座店が「第21回オールヤマトバレーボール大会」の会場でチャリティーバザールを行いました。選手や応援のみな

んに200セットのパンを完売。チャリティー募金16,215円を当財団に寄付していただきました。ありがとうございました。

スワン山口店、全国アビリンピック大会に出店。

障がいのある方の職業技能競技の全国大会、全国アビリンピック大会が山口市で開催されました。スワンベーカリー山口店は、パンの販売、喫茶サービスを行いま

した(10月29・30日)。会場内でスワンベーカリーの歩み、全国フランチ大会などのパネル、写真を展示。ご来場の多くの方々が、熱心に見入っていました。



アビリンピック大会会場の喫茶サービス

スワンネットの野菜販売 町の飲食店の方々もお客さまに

障害者小規模作業所
日野市虹の家



主任の真柄孝一さん



パワーアップセミナーに参加したことがきっかけになって、2003年5月からスワンネットの野菜販売を始めました。「作業所の前で毎日、朝から夕方まで無人販売をしています、それだけではなかなか売り上げが増えないので、みんなで話し合って宅配にチャレンジしました。産地直送ですから鮮度とおいしさには自信がありました」と主任の真柄孝一さん。

定食屋「福呂屋」、障がい者厚生施設の給食、グループホームの食事も、また今では市内の飲食店5店舗にも毎週配達をしています。

販路が増えることに張り合いを感じています。野菜の袋詰め作業は、重さを量る人、袋に入れる人、袋を止める人、それぞれ障がい者3人が分担しています。車の運転は職員ですが、車に載せるのも、お客さまにお届けするのも障害者が担当し、お客さまからの「ありがとう」「苦勞さん」と、声をかけていただくのも大きな励みとなっています。

当施設では、他にもポストイング、食品関係の袋詰め、請負作業、マール染めのオリジナル製品作りなど意欲的に多くの仕事に取り組んでいます。スワンネットの品質のよい野菜を今後もどんどん売って、収益を上げていきたいと思っています。



3人がチームになってのジャガイモ袋詰め作業

詳しいお問い合わせは

〒104-0061 東京都中央区銀座2-12-15 ヤマト運輸別館8F 株式会社スワンネット 営業部長 門脇 悠 かどわき ひさし Tel. 03-5148-1066 Fax. 03-5148-1067 e-mail : kadowaki@swannet.jp

クリスマスケーキ 販売にご協力 ありがとうございました。



みなさまにご協力いただいたクリスマスケーキの販売個数が、7万3011個(前年比104.9%)になりました。紙面をお借りしてスタッフ一同、御礼申し上げます。また、スワン本部も全国の障がい者の360作業所に約1万個を販売しました。このケーキ販売手数料は障がい者のみなさんや作業所の年末ボーナスとしてお役に立てたようです。ありがとうございました。

「ありがとう」と「厳しいご指摘」と…。
今年のクリスマスケーキでもっと笑顔になれるように。

お客さまのご意見を一部ご紹介させていただきます。

〈アンケートピックアップ〉

●子どもがおいしいおいしいと食べました。「お母さんも食べて」と半分食べさせてもらいました。●午前配達を希望していたのですが、12時50分に入っていた不在伝票。再配達来たのが11時半でもう寝ていました！ケーキの型が崩れていたのは半日車に乗っていたからかな？●おいしかったです。チーズの苦手な人もくせがなくておいしいと言っていました。デコレーションも雲のようできれいですね。●届け希望12/24 16時〜18時が20時30分頃！他の営業所に紛れ込んだそうですが、予定が狂って…あわただしく食べることに。時間厳守！！●姉から

クリスマスプレゼントとしてスワンのケーキをもらい、はじめて食べました。甘さも型もなんと上品なこと！感激のあまり、アンケートを書いてしまいました。●届いたときに外側のビニール包装が破れていたのがちょっと気になりました。●毎年24日は、夫が忙しく一緒に食事できないので、今年は一足早く夫の実家で祖父母とともにレアチーズケーキを食べました。二人の娘達もおいしいおいしいと大喜びしていました。久しぶりに笑顔いっぱい楽しい時間を過ごすことができました。ありがとうございます。●一つの商品につき、2〜3種類のサイズ、特に小さいサイズがあるとうれしいです。

「穫れたての、おいしいジャガイモ」 北の大地からの贈り物!

今年も北海道の豊かな大地で収穫されたジャガイモ4.5トンを手玉農場の代表、玉手博章様(北海道虻田郡留寿郡村豊岡)のご好意により当財団に寄付をしていただきました。
平成15年から毎年続いているもので、本当に感謝いたします。
今年も、きょうされん、スワンネットを通じて、各地の施設にお届けをしました。



玉手博章さん



感謝のお手紙が届きました

社会福祉法人 ひびき福祉会(東大阪市)

亀井 勝理 理事長

北海道のジャガイモを沢山お送りいただきありがとうございます。

早速ひびきの4箇所の施設に分配し、給食に使わせていただこうと思っています。

また、親しくお付き合いのある近くの小規模作業所にもお裾分けさせていただきました。

ヤマト福祉財団の皆様には今年も1年を通して本当にありがとうございました。(一部抜粋)

ヤマト福祉財団全国支部連絡先(ヤマト運輸(株)内)

支部	事務長	連絡先
北海道支部	加藤房男	TEL.011-891-5040
東北支部	平井 忠	TEL.022-374-8065
東京支部	窪寺敏幸	TEL.03-5564-3705
関東支部	安田 稔	TEL.03-3471-9016
北信越支部	酒井 貢	TEL.025-231-9512
中部支部	木村叔功	TEL.0561-61-5111

支部	事務長	連絡先
関西支部	石田久雄	TEL.06-6414-5400
中国支部	竹下憲雄	TEL.082-849-1451
四国支部	越智久美子	TEL.0877-46-7875
九州支部	目野和彦	TEL.092-931-3340
沖縄支部	六笠保裕	TEL.098-859-2811



四国支部に
越智久美子新事務長
が就任

よろしく願います。柳島憲
行事務長お疲れさまでした。